



## 概要

甲賀市には、JR、近江鉄道、信楽高原鐵道の3つの鐵道が運行されている。このうち信楽高原鐵道については、国鉄再建法の施行により、昭和62年に第3セクター方式により開業し、地域の重要な交通手段として運行をおこなっている。一方、乗合バスについては、民間路線バス、コミュニティバスが運行されている。このうちコミュニティバスについては、平成16年の合併前の路線を引き継ぎ運行しており、重複する区間や、鐵道と競合する路線が存在するとともに、行き先や乗り継ぎの案内等も複雑になっている。いずれの交通機関とも利用者が伸び悩み、多額の財政負担が生じており、利用者ニーズに対応しつつ、デマンド型交通や乗合タクシーの導入などの運行形態や路線の見直しによる効率の向上や、事業者間での連携した乗り継ぎの改善を図り、生活交通としてはもちろん、来訪者にとっても利便性の高い公共交通体系を確立するため地域公共交通総合連携計画を策定する。

### ○地域公共交通の現況

- ・JR草津線(駅:5駅)
- ・近江鐵道(駅:5駅)
- ・信楽高原鐵道(駅:6駅)
- ・帝産湖南交通(株)(路線数:4系統)
- ・コミュニティバス(運行地域:市内全域 路線数:146系統)

### ○地域公共交通の課題

- ・バス路線が重複、また、鐵道とバスが競合するなど非効率な運行
- ・面積が広大で、交通空白地解消には既存バスでの対応は非効率
- ・利用者ニーズの多様化により、年々系統数が増加(コミバス)
- ・行き先案内、乗り継ぎ案内が複雑
- ・少子化等の影響により、利用者が減少傾向

### ○調査の主な内容

- ・現況交通機関整備状況、利用状況、主要施設立地状況調査
- ・利用者ニーズの把握調査  
(市民アンケート、利用者アンケート、施設利用者アンケート)

### ○地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・コミュニティバスの再編検討
- ・乗合タクシーの導入検討
- ・デマンド型交通の導入検討
- ・乗継施設整備の検討
- ・公共交通利用促進方策の検討

